

■CO2排出量の算定対象・算定方法・排出量原単位

	<p>* 精度向上のため、2022年3月期よりScope1の庸車分をScope3カテゴリ-4へ移行しています。</p> <p>* 精度向上のため、2022年3月期よりScope3カテゴリ-3の原単位を見直しています。</p> <p>* 精度向上のため、2024年3月期よりScope3カテゴリ-5のリサイクルに係る排出原単位を見直しています。</p>
Scope1 算定対象：	<p>地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）に基づく、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」で示されている算定方法を参照。</p> <p>排出係数：温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」の係数を使用。</p> <p>エフピコグループ(*1)での化石燃料の燃焼による排出量</p>
Scope2 算定対象：	<p>地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）に基づく、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」で示されている算定方法を参照。</p> <p>電気事業所別係数：環境省・経済産業省「電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）-R6年度実績」の係数を使用。</p> <p>エフピコグループが購入した電気の使用に伴う排出量</p>
Scope3	
(カテゴリ-1) 算定対象： 算定方法： 排出量原単位：	<p>購入した商品およびサービス</p> <p>(株)エフピコ単体で購入した製品に関連する資材の排出量</p> <p>CO2排出量 = 購入した商品およびサービスの重量 × 排出原単位。（出典：環境省：経産省「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver2.7）」）</p> <p>カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム 基本データベースver. 1.01（出典：産業環境管理協会）</p>
(カテゴリ-2) 算定対象： 算定方法： 排出量原単位：	<p>資本財</p> <p>エフピコグループで購入・取得した資本財（有形固定資産の投資額、土地等）の上流の排出量</p> <p>CO2排出量 = 資本財の価格（建設費用） × 排出原単位。（出典：環境省：経産省「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver2.7）」）</p> <p>出典）環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver3.5）」</p>
(カテゴリ-3) 算定対象： 算定方法： 排出量原単位：	<p>燃料およびエネルギー関連活動</p> <p>エフピコグループが購入し、使用又は販売した燃料やエネルギーの上流の排出量</p> <p>CO2排出量 = 電力または燃料、熱の購入量 × 排出原単位。（出典：環境省：経産省「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver2.7）」）</p> <p>ガソリン・LPG・軽油・重油・灯油：出典）IDEAv2.3 電気・都市ガス：出典）環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver3.5）」</p>
(カテゴリ-4) 算定対象： 算定方法： 排出量原単位：	<p>輸送・配送（上流）</p> <p>①エフピコ単体で購入した製品に関連する資材のサプライヤーから自社への物流に伴う排出量 ②エフピコグループが費用負担している物流に伴う排出</p> <p>①トンキロ法 CO2排出量(tCO2) = 輸送トンキロ(トンキロ) × トンキロ法燃料使用原単位(l/トンキロ)[D] × 0.001 (kl/l) × 単位発熱量(GJ/kl)[A] × 排出係数(tc/GJ)[B] × 44/12 ②燃料法 CO2排出量(tCO2) = 燃料使用量 × 排出原単位</p> <p>①カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム 基本データベースver. 1.01（出典：産業環境管理協会） ②1次データを使用</p>
(カテゴリ-5) 算定対象： 算定方法： 排出量原単位：	<p>事業から出る廃棄物</p> <p>エフピコグループで事業活動から発生する廃棄物（有価のものは除く）の輸送と処理にかかる排出量</p> <p>CO2排出量 = 廃棄物処理・リサイクル委託費用（量） × 排出原単位。（出典：環境省：経産省「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver2.7）」）</p> <p>廃棄物輸送の排出原単位 = 出典）環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver3.5）」</p>
(カテゴリ-6/7) 算定対象： 算定方法： 排出量原単位：	<p>出張/雇用者の通勤</p> <p>エフピコグループが常時使用する従業員の出張等、業務における従業員の移動の際に使用する交通機関における燃料・電力消費から排出される排出量</p> <p>CO2排出量 = 移動手段別 交通費支給額 × 排出原単位</p> <p>連結財務諸表の損益計算書から情報取得</p> <p>出典）環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver3.5）」</p>
(カテゴリ-12) 算定対象： 算定方法： 排出量原単位：	<p>販売した製品の廃棄</p> <p>(株)エフピコ単体が製造又は販売している製品本体及び製品に付する容器包装の「廃棄」と「処理」に係る排出量</p> <p>CO2排出量 = (廃棄物種類・処分方法別の廃棄物処理・リサイクル量) × (廃棄物種類・処理方法別の排出原単位)</p> <p>回収量・焼却量・埋立量 = CFP製品種別基準（認定CFP-PCR番号：PA-BC-03）</p> <p>・廃棄物種類・処理方法別（リサイクル/焼却/埋葬に伴う）CO2排出原単位 = 出典）環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver3.5）」 ・廃棄物輸送の排出原単位 = 出典）環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver3.5）」</p>
*1エフピコグループ：	<p>(株)エフピコ、(株)エフピコ北海道、(株)エフピコ山形、(株)エフピコ茨城、(株)エフピコ八千代、(株)エフピコ下館、(株)エフピコ筑西、(株)エフピコ富山、(株)エフピコ中部、(株)エフピコ兵庫 (株)エフピコ笠岡、(株)エフピコ福山、(株)エフピコ神辺、(株)エフピコ九州、エフピコダックス(株)、エフピコ愛バック(株)、エフピコアルライト(株)、エフピコグラビア(株)、西日本ペットボトルリサイクル(株)、 エフピコ物流(株)、(株)アイ・ロジック、エフピコイーストロジ(株)、エフピコウエストロジ(株)、エフピコ商事(株)、エフピコチューパ(株)、エフピコダイヤフーズ(株)、エフピコインターバック(株)、エフピコイシダ(株)、 エフピコ上田(株)、(株)アベックス</p>